

Hoshiyomi 完全版鑑定書 - 公開サンプル

西洋占星術 x 四柱推命 x 紫微斗数 - 抜粋版

公開サンプル - 架空の人物を使用

お名前：星乃

収録：基礎鑑定と月別指針の一部

この鑑定書の読み方

まずは最初の三章——三術の総覧、あなたという人物像、人生の方向——だけをお読みください。予備知識はいらず、およそ10分です。

残りは引くための資料です。気になる年は流年の章へ、結論の根拠を確かめたいときは紫微斗数・四柱推命・西洋占星術の各章へ。

後半の章が難しく書かれているのは故意です。あれは宣伝ではなく、最初の三章を支える証拠です。

星詠みをつくった人

Harry Na — 25年、星を読み続けてきました。

高校生のときにタロットと西洋占星術に出会って以来、25年以上、占いを学び続けています。学べば学ぶほど分かったのは、当たる占いとそうでない占いを分けるのは「靈感」ではなく、どれだけ正確に計算するかだということでした。

もうひとつの顔は、AI企業 トランスエヌ株式会社 (trans-n.ai) の創業者です。日々、AIに「事実にもとづいて考えさせる」仕組みを設計しています。Hoshiyomi が、生まれた瞬間の空を天文暦から計算し直し、真太陽時や節気まで踏まえて命盤を立てているのは、この二つが同じ人間の中で重なっているからです。

「那」は、叶赫那拉（イエヘナラ）の一文字です。

清朝の皇族に連なる家系で、西洋占星術・紫微斗数・四柱推命は、家に伝わるものとして育ちました。占いが娯楽ではなく、人の一生を左右する判断の道具として扱われていた時代の作法を、家の中で見て育っています。

だから Hoshiyomi は、耳ざわりのいいことを言いません。お出しできるのは、計算の結果として出てきた、いちばん正直な答えだけです。

この公開サンプルは架空の人物を使用しています。正式版は、AIが実際の命盤を読み解き、三つの占術と今後十年の流れをまとめます。

三術をどう照合するか

三つの異なる占術を照合し、繰り返し現れるテーマを重要な傾向として扱います。結論が異なる場合は、時期、環境、表に出る性格と内面の違いとして整理します。

正式版では、最初に命盤上の根拠を示し、その後に長所、注意点、現実での使い方を区別して説明します。象徴的な言葉だけで結論を終わらせません。

総合サマリー

このサンプル命盤には、慎重に土台を築く力と、好機に素早く動く力が共存しています。感受性を抱え込むのではなく、観察と判断の方法へ変えることが成長の鍵です。

総合結論には、三術で一致した点、一致しなかった点、現時点で優先して観察すべきテーマを短くまとめたエグゼクティブサマリーが付きます。

紫微斗数 - 命盤全体の構造

命宮、官禄宮、財帛宮、遷移宮、福德宮が一つの軸を作り、責任ある役割、領域を越えた協力、定期的な生活の立て直しが発展を促します。

十二宮、主星、補助星、四化、大限を個別に扱いながら、宮同士のつながりが人生のどの場面で表れやすいかを説明します。

紫微斗数 - 仕事と財運

専門性を示した後に権限が広がる流れです。収入は一度きりの幸運より、繰り返し価値を届ける仕組みから育ちます。協力前に役割と判断権を明確にすると安定します。

仕事とお金の結論を、価値の作り方、意思決定、協力関係、リスク管理という具体的な行動へ落とし込みます。

四柱推命 - 命式と用神

日主は月令、通根、干支の作用、通変星の偏りを合わせて判断します。用神を単純なラッキーカラーにせず、行動の速度、環境、協力相手、休息の取り方へ翻訳します。

四柱推命の章では、季節、五行、通変星、合・沖・刑・害、大運を照合し、命式の強みが発揮される条件を言葉にします。

四柱推命 - 性格と人間関係

高い察知力は共感とパターン認識を助ける一方、境界線を引くのが遅くなることがあります。親しい関係ほど、期待を早めに言葉にすることが負担の偏りを防ぎます。

関係性の章では、惹かれ方、長期的な関係、家族との距離、境界線の作り方を分け、命主自身が取べき行動を明確にします。

西洋占星術 - 核心となる人物像

太陽、月、アセンダント、チャートルーラー、アングル、ハウス、主要アスペクトを統合して読みます。この人物は落ち着いた探究心を示し、内面では感情を言語化する時間を必要とします。

西洋占星術は天体の羅列ではなく、主要アスペクトとハウスの強調点を統合し、矛盾して見える性格も一つの構造として整理します。

西洋占星術 - 適職と成長

複雑な情報を他者にわかりやすく翻訳する力が仕事の軸です。自分の視点を発信し、長く使える仕組みを作り、無理のない範囲で人前に出ることが成長につながります。

適職の提案は職業名だけでなく、得意な役割、働く環境、裁量の持ち方、学習と発信のバランスまで落とし込みます。

三術の共通テーマ

三つの占術はいずれも、非公開の鍛錬から社会への貢献へ移る流れを示します。安定した基盤を保ちながら、一度に一つの測定可能な挑戦を試す二本立てが実用的です。

三術が同じ方向を示す場合は長期テーマとして、異なる場合は時期や状況によって切り替わる表現として説明します。

ある一年の戦略

年の前半は整理、中盤は協力、後半は権限と責任の再設計が中心です。正式版では本命、大運、年運、主要トランジットを照合し、今後十年を一年ずつ解説します。

各年の章は、年運の主題、注意すべき判断、育てたい関係、仕事と生活の配分を一つの結論と行動にまとめます。

月ごとの指針 - 抜粋

1月は約束を整理し、2月は調査と交渉、3月は提案、4月は休息と修正、5月は合意形成、6月は拡大前の確認に向きます。正式版は節気の日付とともに12か月を扱います。

各月には節気にもとづく期間を添え、始める、続ける、確認する、急がないという四つの行動区分で読みやすく整理します。

行動カレンダーの使い方

勢いのある月は発表、面接、契約、支援の依頼に、静かな月は健康管理、振り返り、文書化、関係修復に活用します。今ここで一つの月を選び、対応する行動を予定表に入れてください。

占星術は、あなたが生まれた瞬間の星空を、古い技法でそのまま計算したものです。運命は、変えられます。